

おかわり
ありませんか？

第70号

令和5年 10月10日発行

ご
か
せ

議会です！

●目次●

- ・補正予算 …P2
- ・決算審査報告 …P3～4
- ・議会運営委員会報告 …P5
- ・一般質問 …P6～8
- ・R503決起大会 …P9
- ・議会構成表、議長挨拶 …P10
- ・議会活動他 …P11

実
り
の
秋

鞍岡丁子の棚田

令和5年第3回五ヶ瀬町議会定例会

令和5年度一般会計補正予算は1億5,500万円を追加し

総額 **58億7,450万円**

令和5年度一般会計補正予算の主な内容は次のとおりです。

主な投資的事業

事業名	事業費	事業内容
広木野造成地法面保護工事	848万円	住宅建設用に造成した広木野造成地の法面を保護する工事
国民健康保険病院繰出金	3,536万円	国民健康保険病院への繰出金
林道維持補修事業	1,149万円	林道の維持管理の支援、補修・改良の実施
森林施業支援事業補助金 に対する町単の上乗せ支援	945万円	森林整備事業（造林・下刈・切捨間伐・防護柵）
災害復旧事業	2,880万円	7月の豪雨災害復旧事業に係る工事請負費
災害復旧事業	500万円	7月の豪雨災害復旧事業に係る設計委託料

主なソフト事業

事業名	事業費	事業内容
介護給付・訓練等給付事業費	2,187万円	扶助費：今年度給付見込額を計上
イベント補助金	200万円	五ヶ瀬町コロナ復興イベント事業に対する補助金の追加計上
ふるさと応援寄付事業	1,109万円	ふるさと応援寄付金の増加を見込んだ返戻品、通信運搬費、委託料等
子育て支援こども医療費助成金	207万円	こども医療費無償化による増額分
住宅建築支援事業費補助金	100万円	移住者向け住宅建築支援1戸分追加計上

人事案件

○西臼杵郡公平委員会委員の選任同意について

・石井 勇氏

（五ヶ瀬町大字鞍岡）

令和5年9月6日から14日にかけて本委員会を開催し、付託された各議案の会計決算について慎重に審査を行いました。その結果、令和4年度のすべての会計決算について、全員一致で次に述べる審査意見を付して認定すべきと決定した。

【総務課所管】

1 電算関連費用

電算システムへの支出が定常化している。国が推進している自治体クラウド等を活用し効率化と経費の削減に取り組み、特定のベンダーやレガシーシステムに依存しない未来志向のシステムへの変革が望まれる。

2 町営住宅

町営住宅の空き物件の解消に努めるとともに、入居者の声を聴き、快適な居住環境の提供を望む。住居の質の向上は定住者の増加につながり、人口減少の歯止めとなる。また、使用料等の滞納額は前年より減少しており、徴収努力の成果がうかがえる。今後も引き続き徴収対策を図られたい。

【福祉課所管】

1 子育て支援

令和4年度から出産祝金を増額したことで、近隣町村と比較して遜色ない金額となっている。子どもを産み育てやすい環境づくりを更に推進することを期待したい。

2 高齢者等への支援

ハンドル型電動車椅子等購入事業補助金が創設されたが、今後更に、妊娠・出産・子育てに係る事業とともに高齢者及び障がい者等への支援が充実することを望む。

3 介護保険事業

本町は全保険者と比較して、介護認定率及び介護保険料ともに低い水準にあり、介護保険事業が適正に行われていると考える。引き続き、健康寿命の延伸のため、認知症施策や介護予防事業等を推進して頂きたい。

【企画課所管】

1 ふるさと応援寄附金

前年度 21,050,000 円から 23,927,000 円と 2,877,000 円増加している。一般財源に繋がるものであり、今後も更なる寄付額の増加に向け努力されたい。

2 観光トイレ

岩神、宮の原、本屋敷の観光トイレについて、管理者とは年間委託契約がなされているが、いずれの管理者からも同等の成果が得られるよう、早急に対策を望む。

3 地域おこし協力隊

協力隊の皆さんは移動図書館の活用による町民へのサービスの向上や、観光情報の発信、農泊事業の推進など日々地域の為に尽力されている。協力隊の皆さんとの情報共有を行い、活動のサポートをお願いしたい。

4 地域活性化拠点エリア整備

令和6年度には基本計画が策定される予定である。今後、町内有識者などの意見を取り入れ、構想に沿った着実な進展を願う。

【町民課所管】

1 町税の徴収

滞納額は減少しており、担当職員の日々の努力の成果が見られる。今後も確実な徴収対策を実施していただきたい。また、大口・長期滞納者については、個別に検討会議を実施するなど滞納の早期解消に取り組んでいただきたい。

【農林課所管】

1 森林環境譲与税

将来を担う子ども達へ安心して五ヶ瀬の自然環境を引き継ぐためへの活用を望む。

2 事業活用

農林業を取り巻く環境は厳しさを増している。補助事業の見直し等を含め、より一層支援策の充実を図り、農林業者の所得向上につながる施策を講じていただきたい。

3 鳥獣害対策

駆除数（1,896 頭）からみると一定の効果を上げているが、鳥獣害対策には終わりはないものと思う。猟友会、有害獣捕獲指導員の担い手の育成強化を望む。

4 災害復旧

超過勤務手当が 2,033,455 円となっており、担当職員に多大な負担が生じたことがうかがえる。現在も続いている事業であり、職員の健康管理について心身ともに十分な配慮を望む。

【教育委員会所管】

1 へき地教員住宅管理費

教職員住宅について、家賃収入に対して修繕費が少ない。先生方が快適に生活でき教育に専念できるよう、早急な居住環境の改善を望む。

2 学校教育

少子化は全国共通の社会現象であり、当町においても児童数の減少傾向は確実に進行している。G 授業のような本町独自の教育プログラムの更なる充実を望む。

3 学校給食

小中学校の給食室、厨房内の修繕及び備品購入で 200 万円余りの支出が見られる。今後の施設・設備の老朽化及び児童数の減少を見据え、給食の在り方について検討を進めていただきたい。

【建設課所管】

1 道路維持管理

町道は町民を支える最も基本的な社会資本であり、社会経済活動を支える重要な役割を担っている施設である。町民の快適な生活環境のために安全な道路の維持管理と計画的な整備、更新に努めていただきたい。

2 水道整備

水道の整備を確実に推進していただき、一日も早く町民が等しくその恩恵を受けられるよう願う。また、既存の町水道設備についても適切な維持管理のもと、町民が安心して利用でき、災害にも強い飲料水の供給体制を維持していただきたい。

3 災害復旧

超過勤務手当が 10,121,070 円となっており、担当職員に多大な負担が生じたことがうかがえる。現在も続いている事業であり、職員の健康管理について心身ともに十分な配慮を望む。

【町立病院】

1 病院運営

当年度純損失は 5,801,093 円であった。新型コロナウイルス感染症の第 7 波・第 8 波による患者減少が大きく影響。病床稼働率の向上による収益向上や経費削減の取り組みを強化し更なる経営改善の努力を図られたい。

令和 6 年度からは西臼杵広域行政事務組合へ業務移管となるが、医師をはじめ医療スタッフの確保に努め、五ヶ瀬町民はもとより西臼杵地域から必要とされる医療体制の確立を望む。

五ヶ瀬町基本条例第22条第1項において「議会は1年毎に、この条例の目的が達成されているかどうかを、議会運営委員会において検討するもの」と規定しております。

条例の見直し判断基準となる2以下の結果となったのは、「町民と議会の関係、公聴人制度及び参考人制度を十分に活用して、広く専門的な意見を議会の討議に反映させる」と「議会の図書室の設置及び公開」と「政治倫理に関する条例の制定」の3項目でありました。公聴人、参考人制度の活用については、この制度を活用する機会がなく、結果的に評価が低くなったと考えられます。議会図書室については、まずは議員が利用する事や図書の充実を図る事、政治倫理については、議会の理解を深めることと合わせて、制定に改めて取り組んでまいります。今回の評価の結果としましては、条例の見直しは必要なく、達成度の低かった事項につきまして、議会活動・議員活動の更なる活性化を図ります。

※結果の詳細につきましては、議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

令和5年 第3回五ヶ瀬町議会定例会議決結果

種類	議案名	審査結果	種類	議案名	審査結果
報告	五ヶ瀬町財政健全化判断比率について	報告のみ	議案	令和5年度五ヶ瀬町一般会計補正予算について	原案可決
報告	五ヶ瀬町公営企業の資金不足比率について	報告のみ	議案	令和5年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算について	原案可決
議案	西臼杵郡公平委員会委員の選任同意について	同意	議案	令和5年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案	令和4年度五ヶ瀬町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	議案	令和5年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算について	原案可決
議案	令和4年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	議案	令和5年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案	令和4年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	議案	令和5年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案	令和4年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計決算の認定について	認定	議案	令和5年度五ヶ瀬町奨学金特別会計補正予算について	原案可決
議案	令和4年度五ヶ瀬町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	発委	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書を国に提出することについて	原案可決
議案	令和4年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	報告	議会運営委員会委員長報告を求めることについて	報告のみ
議案	令和4年度五ヶ瀬町五ヶ瀬町奨学金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	発議	議員派遣について	原案可決
議案	五ヶ瀬町子ども・子育て会議設置条例の一部改正について	原案可決	発議	委員会の閉会中の継続審査について	原案可決

2件を
採択

総務農林常任委員会

総務農林常任委員会に付託された以下の案件について、9月1日（金）に委員会を開き、審議した結果採択と決定しました。

- ・五ヶ瀬町第14区行政区公民館地域への五ヶ瀬町水道の整備について・・・五ヶ瀬町第14区公民館
- ・商工業の振興及び地域経済の活性化に関する要望書・・・・・・・・・・五ヶ瀬町商工会会長 真野公憲氏



かい まさくに
甲斐政國議員

Gライン、デマンド化の状況は

町長

五ヶ瀬モデルを作成。来年7月を予定。

問令和5年3月定例会において、「デマンド型運行導入可能性調査」に取り組み、調査結果を受けて導入したいと考えている。」との答弁であったが、その後の状況を伺いたい。

企画課長

(株)アックスに依頼。乗降調査に加え、病院受診者への聞き取り、バス運転手との擦り合わせ等を経て、本町の実情に適した「デマンド五ヶ瀬モデル」を成果品として頂いた。

問「デマンド五ヶ瀬モデル」 具体的にどのようなものか。

企画課長

現行の路線のほかに、要望のあった地区について可能な限り新路線を加えることと、乗降者が少ない区間は予約制で運行するモデルを頂いた。

問小集落にも運行すると言ったことであるが、ドア・ツー・ドアではない。やはり最寄りのバス停まで移動と言ったことになり、これまでと同様である。

交通弱者にとって利便性は感じられないと思うが。

町長

五ヶ瀬モデルでは、これまで入れなかった所もカバーして行く。移動については、地域の方々の力を借りたい。

問コミュニティバスは、時間帯によっては全く乗客が居ないと聞いているが、五ヶ瀬モデルに反映されるのか。また、導入までの期間と経費はどれ程なのか。

企画課長

細かい部分で調整が必要。様々な手続きを経て導入することとなる。

試験的に本年11月を目途に一部区間で運行する考えである。全体的には、来年7月導入を予定している。また、経費についてはこれまでと変わらない。

デマンドタクシー導入の考えは

町長

町が運行する想定はない。

問交通弱者と言える方々の悩みを解決するには、自宅から目的地・目的地から自宅まで、ドア・ツー・ドアでなければ対策に繋がらないと思うが。

町長

デマンドタクシーとは、予約制の乗合タクシーと定義されている。町内にはタクシー事業者があり、現時点で町が運行する想定はない。

問既にデマンドタクシーを導入し、実績を上げている自治体もある。研修して、導入する考えは。

町長

デマンドタクシーは、それぞれの自治体の実情に合わせて検討されたものと思像する。先進事例も当然であるが、勉強しながらという考えである。

問デマンドタクシーが定着すれば交通弱者には喜ばれると思うし、行財政改革や事業者の雇用の拡大にも繋がると思うが。

町長

現在、コミュニティバスに関しデマンド化を図る考えである。末永く町民の足として運行できるよう努めたい。



ほんだ としのり
本田俊徳議員

給食を共同調理にする考えは。

問過去10年以上も前から検討会等が開催されていると思うが、その後の経過と現在の状況を伺いたい。

教育長

平成22年以降様々な議論され、教育委員会内でも協議を行ってきたが、結果として現在まで自校給食の形を取ってきている。自校給食を続けてきた理由として一番大きいものは食育に関するもの。各校に給食調理員を配置し、地域の産物や食文化などを含めた食育に関する機会を十分確保するという所に力を入れてきた。

教育長次長

課題があるという所で、議論していかねければならなかったが、具体的な協議はできていない。

教育長

議論については、定例の教育委員会内で、いろいろ話し合いは行ったが、食育の問題、各校の教育課程の問題、地域の方との触れ合いの場の創出の問題を優先していた。

問4年後には児童数30名ほどの減が見込まれている。調理員の仕事について差が生まれると思うが、多い方は1人あたり25名、少ないと10名の児童数の給食を作ると仕事量の不公平感があると思うが。

教育長

当然、作る食数が変化していくので、そこで調理員の仕事量に差が生じてくるということとは、私もそう思う。

問調理員が1名で対応している小学校がほとんどだと思うが、緊急の休暇等に対応が難しいと思うが、どういった対処をされているのか伺いたい。

教育長次長

休み等を取られる場合には、事前にそのスケジュールを確認して、代替職員さん、正職員であれば資格を持ったOBの方々を中心にお願いをして、調理に当たっている。

問共同調理にすれば、ある程度柔軟な対応ができると思うが。

教育長次長

給食調理の在り方も含めて、今後、意見交換させていただく。

問今後定期的に検討会を開かれる考えはあるのか。

教育長

定期的に会議を開いて、今後を見据えて話を進めなくてはいけないと考えている。

将来的に民間に委託も視野に入れたらどうか。

問給食調理の人員費用を日之影町と比べてみた場合、1,200万円程の差が出ている。費用を圧縮することによって税金を効率よく使うということも必要かと思うが。

教育長

給食を充実していくという中で、そういったところでコストを調整しつつ、各家庭の負担等も考えてと私も考えている。

意見 圧縮できるのであれば、給食無償化とか、子育て支援のほうに回す考えもあると思う。検討会を、ぜひ定期的に開催をお願いしたい。



矢野 ひろし
議員

子育て支援について

問 子育ては町の将来にとって極めて重要な課題である。子育て支援の重要性や現在の取り組み、今後の方向性について伺う。

町長

子育て支援は、妊娠から出産後の子育てと一連の施策であると考えている。これまで創生総合戦略を策定し、子育て環境の改善に取り組んできた。本年度も子ども医療費の無償化に取り組んだ。

問 公園の要望については、新設は行わず、既存の施設の利用と遊具を設置する方針だが、設置の時期と場所について具体的な考えは。

福祉課長

令和7年度までには設置する方向で進めている。設置場所と遊具の種類については検討中である。

問 設置の場所については、地域性も考えて、なるべく早い段階での設置を望む。

町長

下調べ等々急いでやりたい。設置場所は後々の事も考えて決めたい。休日の中央保育所の園庭開放も考えている。
問 子育て支援策の現状と重点を置いている政策について伺う。

福祉課長

現在、16の支援策を行っている。特に子ども医療費の無償化は保護者の経済的負担が緩和されたと考える。

問 病児保育の設置は可能か。

福祉課長

ニーズはあると認識しているが、現状では施設や職員確保の課題等々で設置は厳しいと考える。

問 経済的負担軽減で保育料や副食費の無償化について考えを伺う。

町長

保育料は国基準額より低く設定をしている。今の財政では無限に色々な支援をしていく事は厳しい。

問 モンベル製のランドセルを町から入学祝として贈ったかどうか。

町長

ランドセルに特化せず、予算等の調整をしながら、子育てに支援ができるようなことは今後も考えていきたい。

スキー場の再建について

問 2年間休業する代償は大きい。スキー場再建に向けての取組方と決意を伺う。

町長

向坂山森林公園の再生検討委員会（仮称）を設置し、スキー場の再生や魅力化及び向坂山周辺のオールシーズン活用についてのアイデア出しを行いたい。3シーズンぶりの再開でお客様を迎えるにあたり、可能な限り施設イメージ向上の視点での改修も必要だと感じている。
議会、町民、そして関係の皆様と一緒に頑張って、活気あふれるスキー場が再開できるように全力で取り組む。



おおた やすよし
議員

施策内容に関する町民からの意見を求めるような機会を設けてはどうか。

問 施策の進捗状況とその効果については直接町民の意向を把握することも必要ではないかと考える。

隔年ごとにでも直接町民との対話の機会を設ける意向はないか。

町長

施策評価について平成19年度から事務事業評価、23年度から施策進捗評価。まち・ひと・しごと創成総合戦略評価などにより公表・審議を実施してきた。毎年4月には公民館長組長の各施策の取り組み及び事業内容の説明と意見交換を実施してきた。町民意見の聴取については、広聴の観点から公民館長組長会が有効と考える。また「小迫の相談室」を開設して町民からのご意見をいただいている。

宮野原地区の電線地中化を検討してはどうか

問 五ヶ瀬町は春先には桜がこころしく咲き誇る。多くの観光客の訪れる宮野原地区の電線を地中に埋設することにより、より一層桜の趣が増すと考える。地域再開発の観点から検討してみてもどうか。

町長

五ヶ瀬町計画において宮野原地区景観形成地域として指定。電線の地中化は一段として認識するが多額の費用を要し、住民意識の醸成が必要。まずは町、町民、事業者がそれぞれの役割を認識し、お互いに連携・協働した景観づくりを目指したい。



宮野原浄専寺付近の様子



たなか はるお
田中 春男議員

プレミアム商品券について

問 プレミアム商品券の販売実績について伺う。

企画課長

第1弾は4,900セット、購入世帯580世帯、1世帯当たり平均約11万円。第2弾は、4,800セット、購入世帯477世帯、1世帯平均約14万円である。

問 プレミアム商品券発行の意義について

企画課長

消費者が余剰している金銭を域内で循環させることで大きな経済効果を生むとされている。低所得者、生活困窮者支援を目的ではない。

問 商品券について高齢者・ひとり親世帯について購入しづらい環境があるのではないか。事業の性質上難しい所もあるかと思われるが、町民に平等に配布するという事は出来ないか。

町長

落ち込んだ町内経済の対策としての商品券なので一律に配ると言う事は性質上想定していない。困窮者対策としては支援金ということで別途支援してきている。

町内の水道整備について

問 現在の水道整備状況は

建設課長

昭和11年の赤谷水道施設を皮切りに、簡易水道が進められてきた。令和2年度末の整備状況は5地区、赤谷、坂本、兼ヶ瀬の地元組合。坂狩、町の公営簡易水道、スキー場の専用水道である。令和4年度末の普及率は、給水人口2426人で77.7%である。

問 小集落の水道整備も随時進めていくべきだと考えるが、今後の水道整備の進め方は。

建設課長

五ヶ瀬町水道ビジョンにあります主要事業のスケジュールに基づき進めていきたい。水道未普及地域からの要望については、現在の状況を確認しながら検討していきたい。

問 現時点での水道整備の要望箇所は。

建設課長

鞍岡の原目地区、第14区、鞍岡の大字地区から要望が出ており、今年度整備を予定している。三ヶ所の戸川地区については以前整備した物であり清掃等により使用できるということでその施設を活用している状況である。

町長

要望事項も受けて、順次、補助事業等を取り組みながら検討して入れていく。

問 具体的に町内の水道整備完了時はいつ頃になるか。

建設課長

明確には答弁は控えさせていただくが、補助事業等を活用しながら早期整備に努めていく。

町長

水道をきちんとやっていこうという流れがここまですべて来ていて、今後もやっていくというのが我々のスタンスとなっている。



おがさわら まさたろう
小笠原将太郎議員

町立病院で発生したコロナウイルスの感染について

問 発生に至った経緯は？

病院事務長

病棟の看護師が、勤務中に体調不良を訴え抗原検査で陽性が判明し、自宅療養に入った。勤務した日の入院患者様からも陽性が判明し、直ちにその陽性の患者さんと同室の方々も含めて部屋を隔離、その後幾度となくスクリーニング検査を行った。その患者様には大変な御負担だったが、最終的には延べ6回にわたり全入院患者様の抗原検査を実施したほか、医師の判断で計6回PCR検査を行った。最終的に入院患者様が5名陽性になった。

その後間隔が空いて、他の病棟の職員も陽性となり、最終的に病棟に勤務する7名が自宅療養となった。夜勤帯の職員不足その対策として、一部外来診療の制限をかけ、外来の看護職員が病棟勤務を行った。

結果、7月19日から27日にかけて、内科、外科の一部診療を中止する結果となり、利用されていた患者様や地域の皆様方には大変な御迷惑をおかけした。

問 今後の防止策について

病院事務長

感染防止対策の情報収集、職員研修も進める。西臼杵圏域での病院間の情報交換と連携し、今後も感染対策に当たっていききたい。

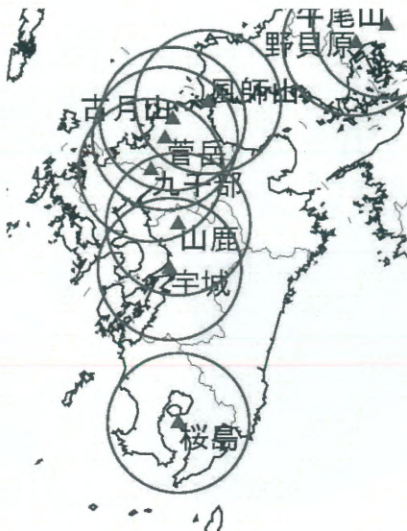
異常な大雨への対応は

問 町内各地域の降雨量を詳細に把握しているのか。

総務課長

町内の雨量計には、气象台、国土交通省、県、町で設置され三ヶ所地区で3か所、桑野内地区で2か所、鞍岡地区で3か所、合計8か所設置されている。

意見 雨量計でどれだけ雨が降ったかを知ることが大切だが、事前に降雨量を予知することも大切だ。宮崎県には最新型レーダーは設置されていない。雨雲を詳細に把握できるように、県及び国に働きかけ、新しいレーダーを宮崎県内に設置するよう働きかけてほしい。



九州内のレーダー設置図

▲が設置場所

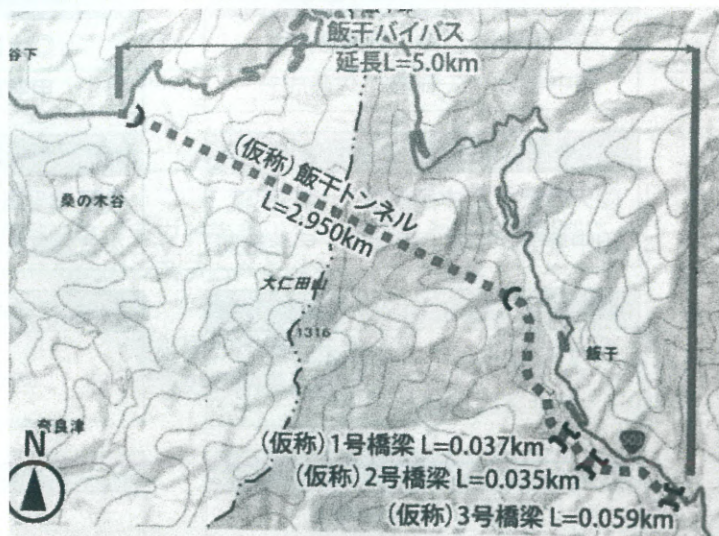
国道503号整備促進総決起大会の開催

～より良い交通手段確保のためのトンネル等の整備～

8月23日に諸塚村中央公民館において五ヶ瀬町・諸塚村を初めとする関係者出席のもと「国道503号整備促進既成同盟会総会並びに整備促進総決起大会」が開催されました。

飯干峠に通じる国道503号線は、高森町から五ヶ瀬町、諸塚村を経て日向市に至る基幹道路です。

しかしこの国道は幅員狭小で線形不良であり、また冬期には積雪のため通行止めの措置がとられるなど不自由な生活を強いられて来ました。



そうしたなか飯干バイパス整備計画事業が採択され、道路改良に向けて動き出しました。この中には飯干トンネル（仮称 約3キロ）が計画されています。

今後とも早期完成に向けて議会としても積極的に活動してまいります。



●あなたの年代は？（○をつけてください）

10代 ・ 20～30代 ・ 40～50代 ・ 60代以上

●「議会だより」に対するご意見ご感想

.....

.....

.....

.....

●町や議会に対するご意見

.....

.....

.....

.....

ありがとうございました



みなさまの声をお聞かせください！！

（例）

○こういう特集を組んで！

○ここが読みにくい！

○議員と意見交換会をしたい！

内容は何でもかまいません。

はがきを切り取るかコピーをして、議会までお寄せください。

（※大変恐れ入りますが、切手をお貼りになるか、議会事務局までご提出ください。）

◎ご意見は次号で紹介させていただく場合もございますので、ご了承ください。

◎氏名等は公表いたしません。情報は議会だより以外には使用しません。

恐れ入りますが、点線で切り取るか、コピーしてご利用ください。

約180人が集まった決起大会

議 会 構 成

(令和5年8月1日現在)

議長

佐藤成志

副議長

渡邊 孝

議会選出監査委員

甲斐政國

◆総務農林常任委員会◆

◎甲斐義則 ○小笠原将太郎
田中春男 矢野宏 佐藤成志

◆文教福祉常任委員会◆

◎太田保義 ○本田俊徳
甲斐政國 渡邊孝

◆議会運営委員会◆

◎田中春男 ○甲斐政國
甲斐義則 太田保義

◆議会広報編集委員会◆

◎矢野宏 ○本田俊徳 太田保義
田中春男 小笠原将太郎 甲斐義則

◆五ヶ瀬町森林・林業活性化協議会◆

会長 甲斐義則 副会長 小笠原将太郎
※全議員で構成

◆行財政改革特別委員会◆

◎渡邊孝 ○甲斐義則
※議長を除く8名で構成

◆公立病院の広域医療等に関する特別委員会◆

◎太田保義 ○本田俊徳
※全議員で構成

◆病院運営協議会◆

太田保義 本田俊徳

◆九州中央自動車道整備促進対策特別委員会◆

◎渡邊孝 ○甲斐義則
※全議員で構成

◆新庁舎建設調査検討特別委員会◆

◎渡邊孝 ○甲斐義則
※全議員で構成

◆国保運営協議会◆

太田保義

◆西臼杵広域行政事務組合議会議員◆

佐藤成志 甲斐義則 太田保義

◆宮崎県北部広域行政事務組合議会議員◆

甲斐義則 太田保義

〔 ◎委員長
○副委員長 〕

議長就任のあいさつ



第24代 議長
佐藤成志
(桑野内 麦の崎)

町民の皆様には日頃より町議会に対しましてご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

この度議長に就任し、身に余る光栄であると同時にその職責の重さに身が引き締まる思いであります。少子高齢化の中で、わが町も第一次産業の担い手不足、人口減少など課題が山積しております。その一つ一つを解決するためにも、町の施策を監視・評価するだけでなく、議員自ら政策立案等の機能を十分に発揮し、町民の皆様が「五ヶ瀬で暮らせて本当に良かった」と思えるまちづくりを議員一同、全力で取り組んでまいります。町民の皆様から信頼され、開かれた議会として、町執行部と切磋琢磨しながら議会活動に邁進する所存でございますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

郵便はがき

882-1295

恐れいますが、63円分の切手をお貼りいただくか議会事務局までご提出ください。

五ヶ瀬町大字三ヶ所 1670

五ヶ瀬町議会事務局 行き

氏名（掲載しません）

ペンネームなど

郡内の林活協議会の委員でつくる西臼杵郡森林・林業活性化協議会は、去る8月22日に県林活協議会議員連盟連絡会議らが主催する講演会に出席しました。

本県は、森林が県土の76%を占め、先人が造成した森林資源の多くが主伐期を迎え、林道や林業機械、木材加工施設等の整備を背景に、32年連続スギ素材生産量日本一となっています。また、住宅建築等への国産材利用の高まり等から、皆伐主体の素材生産が増加しており、主伐後の確実な再造林の実施などが急務となっております。講演会では、「資源循環型林業の確立への挑戦」をテーマに、県内の立木販売過程や再造林率など

の現状と、所有者交代や林地集約に向けて取り組むべき等、再造林に向けての課題などを受講しました。

視察研修

翌8月23日に川南町の(株)林田樹苗農園を視察しました。当社は主に山林用苗木(杉、クヌギ)や抵抗性松苗の生産販売を手掛けており、苗木を育てて終わりではなく、山に植えて数十年後、材になるまで林業全体を見据えた育苗を行っています。

研修では、母樹からの苗の取り方などの説明の他に、従来の裸苗よりも植栽適期や植栽工程に有利なMスターコンテナ苗の作制作業などを学びました。



Mスターコンテナ苗の作製作業を見学



母樹から挿し苗の取り方を学ぶ

これまでの議会の動き

- 7月11日 タブレット研修(西米良村議会来庁)
- 19日 新議員研修(宮崎市)
- 20日 議会全員協議会
- 31日 臨時議会
- 8月1日 九州中央自動車道建設沿線議会期成会決起集会(延岡市)
- 4日 新得町議会議長、局長来町
- 17日 行財政改革特別委員会
- 22日 宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議(宮崎市)
- 23日 国道503号整備促進期成同盟会総会、決起大会(諸塚村)
- 24日 九州中央自動車道建設促進地方大会(延岡市)
- 30日 行財政改革特別委員会、タブレット研修(都農町議会来庁)
- 9月1日 第3回定例会(初日)、公立病院の広域医療等に関する特別委員会、財政勉強会
- 5日 第3回定例会(一般質問)
- 6日 第3回定例会(総括質疑)
- 6日~8日 決算審査特別委員会
- 12日 決算審査特別委員会(現地調査)
- 15日 第3回定例会(最終日)

これからの議会の動き(予定)

- 10月5日 西臼杵広域行政事務組合議会(高千穂町)
- 12日 宮崎県議員大会(川南町)
- 16日 宮崎県北部広域事務組合(延岡市)
- 18日 行財政特別委員会(五ヶ瀬ハイランド)
- 23~24日 市町村議会議員研修(大津市)
- 31日 森林・林業活性化九州大会(熊本市)
- 11月3日 国道218号蘇陽五ヶ瀬道路着工式(Gパーク)
- 6日 議会報告会(鞍岡地区)
- 7日 議会報告会(桑野内地区)
- 8日 議会報告会(三ヶ所地区)
- 9日 議会報告会(坂本地区)
- 27日 議会広報研修会(宮崎市)
- ※11月未定 西臼杵郡議員大会(五ヶ瀬町)
- ※12月未定 第4回定例会

議会報告会開催のお知らせ

五ヶ瀬町議会の令和5年度議会報告会を、下記の通り開催します。御多忙な時期とは思いますが、是非ご出席いただき、ご意見をお聞かせください。心よりお待ちしております。

開催日	開催場所	開催時間	対象地区
11月6日(月)	鞍岡地区複合型交流施設	19:00	9区~14区
11月7日(火)	桑野内生活改善センター	19:00	6区~8区
11月8日(水)	役場	19:00	2区~5区
11月9日(木)	荒踊の館	19:00	1区

明日を駆ける!

松岡 星さん (24歳)
まつおか あり

今月は、松岡 星さんを紹介します。

星さんは、椎葉村松尾地区の出身で、延岡の高校を卒業後宮崎市内に勤務され、現在は鞍岡に事業所がある「YG テック」に昨年の11月から勤務されています。趣味は、ドライブ、音楽を聴く事やカクテル等をつくってそれを飲む事。全国を旅行するのも好きで、特に田舎が好きで、「山村の魅力を発信していきたい」と。資格もフォークリフト 英検2級・漢検準1級と多才です。今後は、「会社の周囲に花などを植えて整備し、地域の方とコミュニケーションが取れる場所作りもしていきたい」と、目を輝かせて話されていました。



五ヶ瀬の印象としては、「とにかく皆さん行動力がすごい。そんな五ヶ瀬が大好きです」との事。

10月からは鞍岡に移住される予定です。五ヶ瀬町民の一人として、ご活躍されることを願っています。

…… 地域の話題 ……



五ヶ瀬川支流三ヶ所川

全国溪流釣り大会 開催

8月19日に第1回五ヶ瀬川支流三ヶ所川全国溪流釣り大会が、20日に三ヶ所地区釣り大会が開催されました。二日間で延べ160人近くの釣人が九州各地から訪れ、遠くは山口県下関より来町されました。五ヶ瀬は豊かな清流に恵まれ、県内外から訪れる方々の健全な親水性レクリエーションの場として、親しまれています。主催した西臼杵漁協三ヶ所支部は、数ヶ月前より実行委員会を立ち上げ入念に計画を立て大会に備えました。また日頃から、水産資源・漁場管理・河川環境を保全するために、積極的に取り組まれています。



▲ 釣り大会の様子

バイク愛好家の集い!!

余剰金を交通遺児支援に寄付

五ヶ瀬ミーティング実行委員会は、8月18日、19日の二日間、五ヶ瀬ワイナリー駐車場で第2回五ヶ瀬ミーティングを開催しました！町内外から総勢60余台が集まり交流を深めました。会では寄付をしてもらおうと、写真撮影し冊子にしてお届けしています。来年も開催します！ 地元のライダーもご来場お待ちしております。



▲ すらりと並んだバイク

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は12月開会予定です。傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局にお尋ねください。
TEL82-1711 (議会事務局直通)

発行責任者 議長 佐藤 成志
議会広報編集委員会 委員長 矢野 宏
副委員長 本田 俊徳
委員 太田 保義
委員 田中 春男
委員 小笠原 将太郎
委員 甲斐 義則

お願い申し上げます。
H・Y
この度の構成替えにより、議会広報編集委員会の体制が変わりました。皆様に有益な情報提供を行うために、引き続き研鑽に励み努力してまいります。お困りの点やご要望がございましたら、遠慮せずにお知らせください。今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

秋麗(あきうらら)。うららかという春のイメージだが、あきうららとは、秋晴れの心地よい気候でのどかなことを言うそう。高森峠九十九曲公園の中にも句碑が設置されている大久保橙青(とうせい)の句の中に、「阿蘇の牛道に寝てゐて 秋うらら」がある。読んだだけでまさにその情景が浮かんでくる。わが町も今年こそは、災害に遭うことなく、秋麗であることを願う。

編集後記